

## 令和7年度 第4回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年2月12日(木) 10時20分から11時40分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 本多 正明、早川 大介、中村 恵美子、稲垣 美世子、河村 恵子、仲道 有美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 県居協働センター 桐澤 祐貴
- 6 学校支援コーディネーター 中根 理恵
- 7 学 校 鈴木彰一(校長)、北村のぞみ(教頭)、中西啓介(教務主任)、石崎慶子(CS ディレクター)
- 8 傍 聴 者 1人
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 石崎慶子

### 10 議長の選出

会長から本多委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく了承した。

### 11 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価
- (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

### 12 会議記録

司会の稲垣会長から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校関係者評価

議長の指示により、中西教務主任から、別紙資料に基づき、児童・保護者・教職員の3者に実施した「学校関係者評価」の結果と考察、改善案について説明があった。説明を聞き、委員からは以下の発言があった。

- ・ 学級によって、タブレットの持ち帰りに差があるように思う。学校全体で足並みを揃えたほうがよいのでは。(仲道委員)  
→タブレットは週1回持ち帰るようにしているが、足並みを揃えられるよう再度確認していく。重たいという課題もあるため、学年で差をつけていくのかも含めて、再確認する。(中西教務主任)
- ・ 保護者は学校での様子があまり見えない部分があるため、評価をどこまで重く捉えるか難しい。児童と職員の評価の差が大きい項目があり驚いている。家庭学習の時間について、職員の評価は何に基づいたものなのか。また、どうすれば定着していくのか。(中村委員)  
→学年によって学習時間を家庭学習カードに記入するかどうかは違っているのが現状。来年度は、学年×10分の家庭学習を意識できるよう、家庭学習カードに明記していく。(中西教務主任)
- ・ 「自分の考えを相手に伝えたり、先生の話や友達の発表を最後まで聞いたりすることができる」の項目について、自分たちで意識できるような言葉がけを学校生活の中でできているか。自分

たちができているかどうか、どのようにしていけばよくなっていくか、一緒に考えていけたらと思う。  
(中村委員)

→できていることは積極的にほめていくよう、研修でも話をしている。「聞く(低学年)、聴く(中学  
年)、効く(高学年)」を共通理解にし、学級にも掲示している。

- ・ いじめについて、解消率が42%と低くなっているのは、3 か月経たないと解消と見なさない中で、  
新しい件が出てきたためか。(中村委員)  
→新しい年度が始まり、人間関係ができていくことで発生してくる。お互いの気持ちがすっきりとし  
た状態から 3 か月が経った時点で解消と見なすため、年度途中ではやはり解消率は低くなる。  
解消に向けて繰り返し支援をしていく。(中西教務主任)
- ・ 読書について、保護者の評価が低いのは、学校での様子が見えていないからではないか。学校  
と家庭の連携を考えていかないといけない。(河村委員)
- ・ アンケートは解釈が難しい。「勉強をしている」についても、机に座っていれば勉強としている子も  
いれば、寝転んで宿題をやっていることを勉強と見なさない保護者もいると思う。そのため、変  
化を捉えていくしかない。今後は、「読んでいるか」→「月に〇冊読んだか」、「勉強している」→  
「〇分している」など、客観的な数値で評価する方法を考えていくべき。(本多委員)
- ・ 児童がクロムブックを使用して学習することだけが「ICT 化」ではないと思う。何問解いたという客  
観的な数値を集めて数値化するなど、工夫していければよい。(本多委員)

## (2) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、鈴木校長から、資料に基づき、令和8年度学校運営基本方針についての説  
明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 学校教育目標を変えたことはとても良い。保護者も目にする機会が多く、定着を実感できると思  
う。(稲垣委員)
- ・ 西部中にあがり、県居の子が優しいというのは以前から聞くことがある。発言力が少ないというこ  
とも聞いており、どうい教育をして、自己肯定感を育てていくのか。(中村委員)  
→様々な活動を通して良さを認め、自信を持たせたい。県居小の規模では、認めてもらえる環  
境を整えやすい。いただいたご意見を取り入れながら進めたい。
- ・ 保護者地域との関わりについて、「広く公開し」とあるが、どの程度地域住民が学校に来てよい  
のかわからない。(河村委員)  
→基本的にいつでも公開している。(鈴木校長)  
→行事についても、地域に広く連絡はしないが、事前に連絡をもらえれば行事に来ていただくこ  
とは問題ない。不審者対策という面から、事前に連絡はいただきたい。(北村教頭)
- ・ 県居のひびきは、どの程度こどもたちに浸透しているのか。(早川委員)  
→毎月の朝会で唱和しており、1年生にも浸透している。意味については、学年の発達段階に  
おいて理解を働きかけていく。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (3) 学校運営協議会の自己評価

稲垣会長より、学校運営協議会自己評価のアンケートの集計結果について説明があり、全員異  
議なくこれを了承した。

#### (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、北村教頭から、夢育やらまいか CS 加算分について報告があり、全員異議なくこれを了承した。

#### その他報告事項等

学校支援コーディネーターの中根さんと仲道委員から、今年度の県居小サポーター活動報告があった。

- ・ 今年度は年間を通して延べ人数 300 人強に参加いただいた。新しい取り組みとして、草取りについて民生委員経由で地域にチラシを配布し、多くの方に参加いただけた。来年度は2回の草取りを実施する予定。また、水やりをサポーターのほうで活動できたらと考えている。CS だよりでの活動報告を行いながら、活動人数を増やしていきたい。
- ・ 図書ボランティアは、以下の活動を行った。
  - ◆ 環境ボランティア: 図書室前掲示物作成を年間 16 回。毎回 7 名前後の参加。
  - ◆ 読み聞かせ: 年間27回。毎週火曜日朝 10 分程度。毎回7名前後の参加。
  - ◆ 和歌展示: 地域の和歌展示と回収を夏秋冬の 3 回行い、毎回7名程度の参加。
  - ◆ お話メロディ: 4回中3回終了。

教頭から、令和8年度第1回の会議は、令和8年5月8日(金)10時20分から県居小学校会議室で開催する旨の連絡があった。